

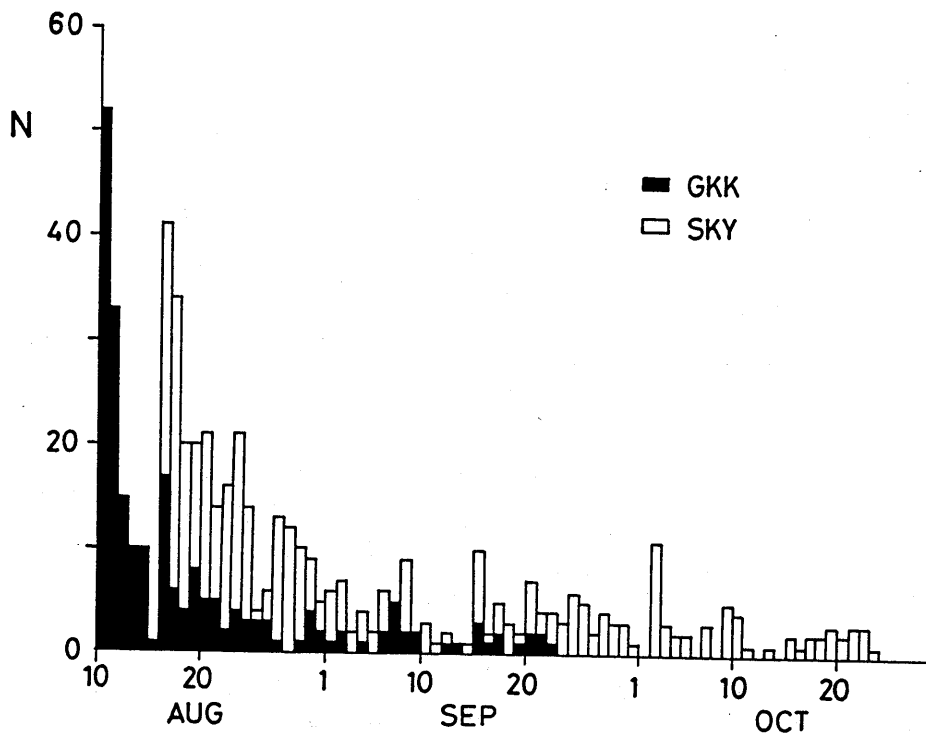
# 八甲田山の地震活動\*

弘前大学理学部

1986年8月10日、八甲田山の田茂滝岳付近を震源とする M4.8の地震が発生し、震源の北西の萱野茶屋等で水道管・家屋の壁等に軽微な被害が生じた。弘前大学では8月16日に、酸ヶ湯温泉に臨時観測点 (SKY)を設置し、地震観測を行った。

8月10日以降の日別地震発生頻度を第1図に示す。図中、GKKは定常観測点である月光の滝観測点における験測数、SKYは酸ヶ湯観測点における験測数である。8月10日の本震以降減少していた地震数は、8月17日にやや増加したが、その後は徐々に静穏化している。

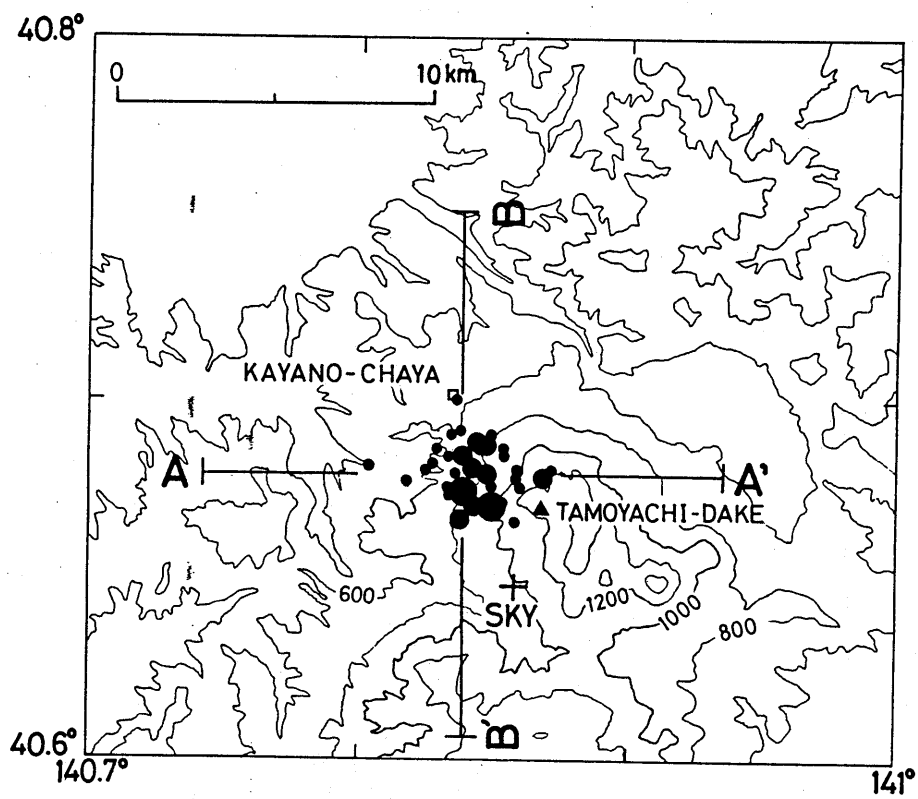
地震の震央分布を第2図に、深さ分布を第3図に示す。震央は田茂滝岳の北西数kmの地点を中心に分布し、震源の深さは6 km程度のもが多い。



第1図 1986年8月10日以降八甲田山周辺で発生した地震のGKK, SKYにおける日別発生頻度。

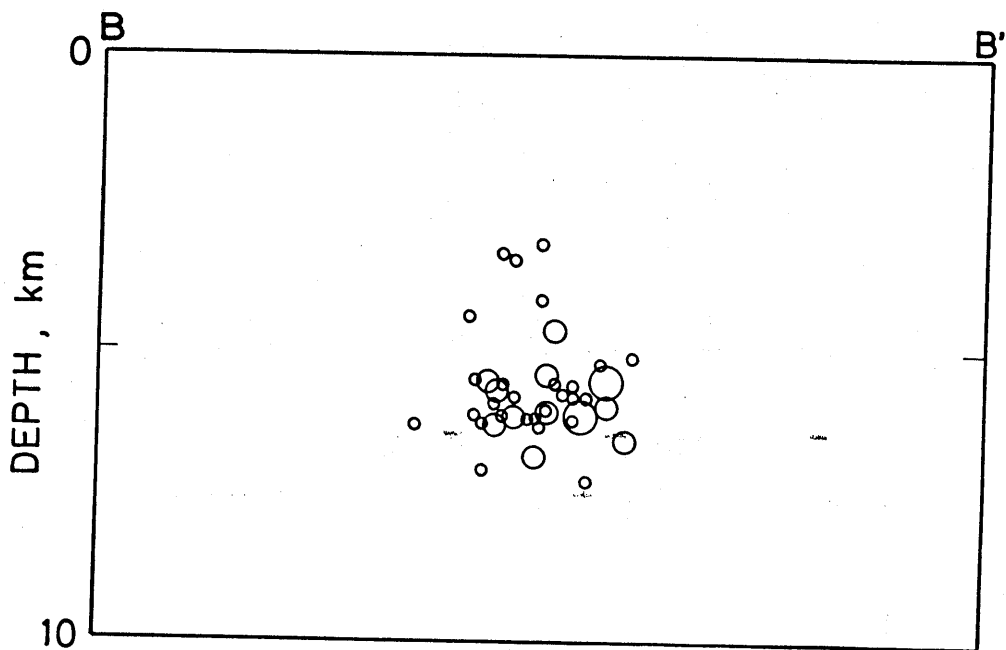
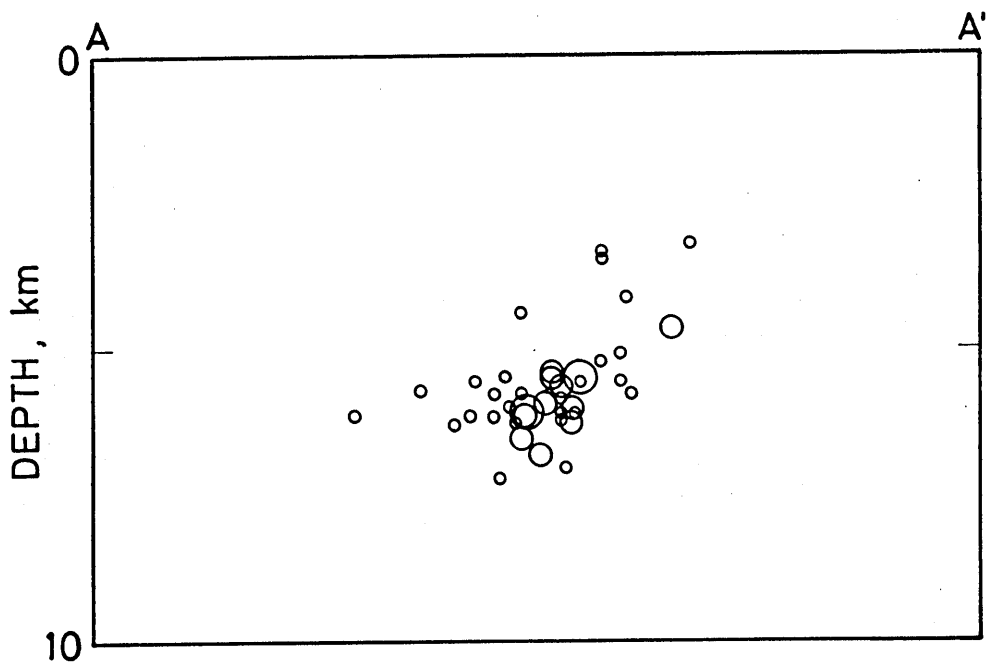
Fig.1 Daily frequency of earthquakes.

\* Received Jan. 30, 1987.



第2図 八甲田山周辺で発生した地震の震央分布。

Fig. 2 Epicenter distribution.



第3図 八甲田山周辺で発生した地震の深さ分布 (図2のA-A', B-B'に投影)。

Fig. 3 Depth distributions of earthquakes.